

ぶらり諏訪塾 ⑨ 大火無ければ青柳宿の景勝地か

茅野市には甲州街道一里塚が2カ所あります。その一つである宮川地区の一里塚は前回紹介しました。今回はもう一つの金沢地区にある一里塚について紹介します。

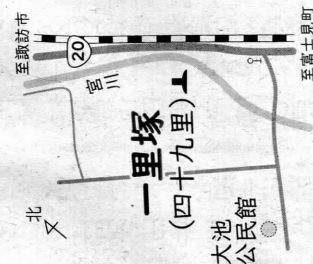
ここも石碑が残るのみです。金沢の木舟の辺りは、国道20号のすぐ横を宮川が流れているのですが、その宮川の対岸に江戸から49里一里塚の石碑があります。一見すると小さな塚に石碑があります。が、説明板によると明治に入り道路改修工事や中央線敷設で塚は取り払われてしまったとのこと。また近年の耕地整理により、当初の位置から移されたそうです。前回と似たような近代化による影響ですが、この一里塚のある辺りはそれ以前から大きな変化が

あったようです。

現在でも当時の様子が残る金沢宿は、江戸時代始めまではもともと一里塚の近くにありました。しかし、大火があり現在の場所へ移転したようです。そのかつて宿場があった場所を「焼け屋敷」と呼び、現在では田畑が広がる場所ですが、豊道に宿場町の特徴である柳形の痕跡が残っています。

また、移転前は金沢宿ではなく青柳宿といい、名称まで違いました。当時、一里塚の辺りから青柳宿の間には宮川が自然にせき止められ、洲ができていました。この洲の水際までが青柳宿だったようです。この洲を「アオナギ」と呼んでいたようです。

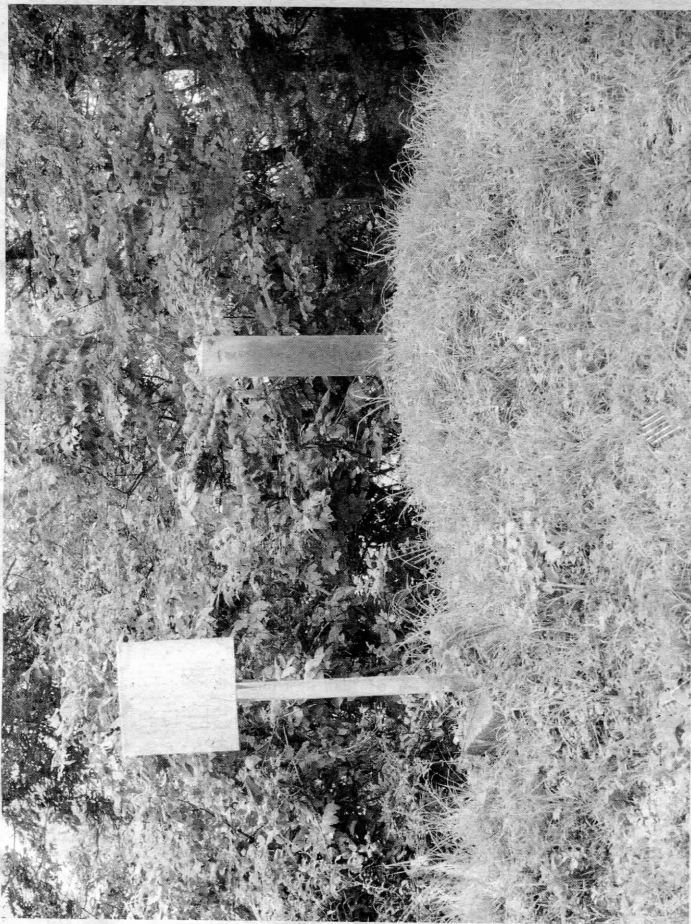
小林勝郎著「儀民小松三郎左衛



門とその子孫」には「この自然の湖は朝日に夕日に輝き、周囲が水に映え、渡り鳥の休憩にその景観は素晴らしい洲であつたであろう」とあります。今とはイメージがだいぶ異なります。大火が無ければ青柳宿の景勝地として現在まで残っていたのでしょうか、想像は尽きません。

＝随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局（電話070・833233・2107）へ。



茅野市金沢に残る甲州街道一里塚跡の石碑

ぶらり諏訪塾の冊子も

- ・諏訪市観光案内所
(JR上諏訪駅内)
- ・れすとりん創業しずみ屋
(諏訪市諏訪)
- ・書店「三書堂」
(諏訪市末広)
- ・すわ大書情報センター
(諏訪市博物館内)
- ・諏訪書店(通販のみ)
57・0997)
- ・柏屋カフエ&キャウー
(諏訪市中洲神宮寺)
で販売中です。

今回の筆者



渡邊孝洋さん